

合同防災 キャンプ 2016

報告書

2016.07.22-2017.01.22



平成 29 年 3 月
東京都教育委員会

目次

はじめに

第1章 実施概要

- ・事業の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
 - 3.11 東日本大震災を忘れない・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
- ・合同防災キャンプ2016 全体スケジュール・・・・・・・・・・8
- ・合同防災キャンプ2016 募集活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
 - 学校への告知ポスター／学校への告知チラシ
 - 参加生徒・教員が合同防災キャンプ2016に期待すること
- ・実施体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
 - 合同防災キャンプ2016 実行委員会

第2章 合同防災キャンプ2016 実施内容

- ・事前研修の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
 - 開講式／生徒代表決意表明及び教員代表挨拶・・・・・・・・15
 - 防災士養成講座（講義）・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
 - 「近年の自然災害に学ぶ」
 - （伊藤 和明氏：防災情報機構 特定非営利活動法人 会長、元NHK解説委員）
 - 「避難と避難行動～東日本大震災、その時学校は～」
 - （鈴木 洋子先生：旧宮城県石巻市立門脇小学校 校長）
 - 「防災士の役割」
 - （甘中 繁雄氏：株式会社 防災士研修センター 代表取締役、特定非営利活動法人 日本防災士機構 理事）
- ・被災地での宿泊研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
 - 東松島市・石巻市での交流活動・・・・・・・・・・・・・・・・22
 - 東松島市周辺被災地や旧門脇小学校訪問、
 - 宮城県石巻西高等学校の生徒とのグループワーク等
 - 多賀城市での交流活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
 - 多賀城市内視察、
 - 宮城県多賀城高等学校の生徒とのグループワーク等

復興支援ボランティア	30
漁業支援／養殖の仕込み、重しづくり等	
農業支援／菊の手入れ、花束加工等	
林業支援／間伐手伝い、木材を活用した商品製造見学等	
物販支援／乾物袋詰め、カキ養殖の種付け作業準備等	
防災士養成講座（講義と演習）	38
「避難所の開設と運営」（高橋 健一先生：山元町立山下中学校 防災担当主幹教諭）	
「地域の自主防災活動」（橋本 茂氏：特定非営利活動法人 日本防災士会 常務理事）	
「津波の仕組みと被害」（首藤 伸夫先生：東北大学名誉教授）	
「被害想定とハザードマップ」（甘中 繁雄氏：株式会社 防災士研修センター 代表取締役、 特定非営利活動法人 日本防災士機構 理事）	
南三陸町での交流活動	40
小暮 和弘氏：東京消防庁 防災部 防災安全課 総合防災教育係長	
及川 孝氏：気仙沼・本吉地域広域行政事務組合 南三陸消防署 当直司令兼警防第二係長	
阿部 憲子氏：南三陸ホテル観洋 女将	
「語り部バス」でめぐる	
旧戸倉中学校・旧戸倉小学校跡地、	
旧高野会館・南三陸町旧防災対策庁舎（代表生徒による献花）、	
南三陸さんさん商店街等	
・事後研修の開催	45
宿泊研修振り返り（グループ協議）	46
防災士養成講座（講義）	47
「身近でできる防災対策」（国崎 信江氏：危機管理アドバイザー、危機管理教育研究所 代表）	
「災害とボランティア活動」（秦 好子氏：元横浜市消防局消防監、社会貢献学会 理事）	
「気象災害」（伊藤 みゆき氏：NHKラジオ気象キャスター、日本気象学会天気予報研究連絡会委員）	
防災士資格取得試験の実施	
・都立高校防災サミット及び合同防災キャンプ報告会	48
第3章 合同防災キャンプ2016 参加者感想	50
第4章 資料 合同防災キャンプ2016 データ	
・参加生徒名簿、教員名簿／参加者データ（生徒学年構成、教員職層構成）	58
・報道状況	61
・参加者記念写真	62

はじめに

平成 23 年 3 月 11 日午後 2 時 46 分に発生した東北地方太平洋沖地震による未曾有の大災害（東日本大震災）により、多くの尊い命が失われました。東京都教育委員会では、この震災の記憶を忘れず、首都直下地震等の災害において、まず自分の命を守り、次に身近な人を助け、さらに地域に貢献できる人材を育成するため、翌 24 年 1 月に防災教育補助教材「3.11 を忘れない」を作成するなど防災教育の充実を図ってきました。

しかし、昨年、東日本大震災で被災された方々に対して行った NHK のアンケートにおいて、80% 近くの方が「震災の風化を実感している」という結果がありました。震災から 5 年以上が経過した今、残念ながら被災地の復興の様子に関心を持ち、支援しようという意識が徐々に薄らいできていると言えるのかもしれません。

そこで、東京都教育委員会は、「3.11 を忘れない」という当時の思いに立ち返るとともに、将来の防災の担い手となる高校生や中核となり防災教育を推進する教員を育成することをねらいとして、東日本大震災の被災地に、高校生と教員約 100 人を派遣する「合同防災キャンプ」を昨年 8 月に初めて実施しました。

本合同防災キャンプの成果としては、参加した生徒及び教員が、復興支援ボランティアを通して奉仕の精神を涵養できたこと、そして、現地の人々との交流活動を通して当時の被災状況を知るとともに、復興への思いや願いに触れることができたことなどです。あわせて防災士資格取得講座において防災に関する幅広い知識を学習することにより、全員が防災士の資格を取得し、防災への意識をより高めたことも重要な成果です。

本報告書は、この合同防災キャンプの概要とこれまでの成果の一端をまとめたものです。現地の人々と一緒にボランティアで汗を流し、被災された方の生の声を真摯に聞いたからこそ知り得た災害の本当の姿や被災地の今を、生徒、教員の生の感想によって表現することで、少しでも伝えたいと考え編集しました。東京都の各学校においては、本報告書を防災教育の教材として活用し、実践的な防災教育を一層推進されることを期待しています。

最後に、本合同防災キャンプを実施する上で、御協力を頂いた宮城県教育委員会、宮城県石巻西高等学校、宮城県多賀城高等学校、多賀城市役所、石巻市教育委員会、南三陸町教育委員会及び気仙沼・本吉地域広域行政事務組合をはじめ各団体並びに旧宮城県石巻市立門脇小学校校長の鈴木 洋子様をはじめ講師の皆様に心より御礼申し上げます。

平成 29 年 3 月 1 日

合同防災キャンプ 2016 実行委員長
東京都教育庁指導部長
出張 吉訓